

# 令和5年度 社会福祉法人 松川町社会福祉協議会 事業報告 事務局

## 1、社協組織の基盤強化

### (1) 社協会費

会員区分	会費	会員数	合計金額
一般会員(一世帯)	1,000円	2,869人	2,868,400円
賛助会員 (特にご協力いただける個人)	2,000円	236人	472,000円
特別会員(企業・団体等)	8,000円	75法人	600,000円
合計			3,940,400円

### (2) 役員会等の開催

会議名	開催日
理事会	6月9日(金)、6月28日(水)、9月22日(金)、12月21日(水)、 3月14日(水) 【合計5回開催】
評議員会	6月27日(火)、10月3日付提案 決議の省略、 3月26日(火) 【合計3回開催】
監査会	6月1日(水)、9月7日(水)、11月27日(月)、2月22日(水)・ 【合計4回開催】
評議員選任・ 解任委員会	5月22日(月) 【合計1回開催】

### (3) 法人運営に係る研修・会議等

- ①安全運転研修 5月17日(水)、  
5月24日(水)
- ②苦情対応システム研修会 10月30日(月)
- ③第三者委員会 3月5日(火)
- ④新任職員研修 3月21日(木) 等

### (4) 新型コロナウイルス感染症対策等

- ①法人事業所での新型コロナウイルス感染者の発生状況  
職員：38名 利用者様：15名
- ②感染症対策会議の開催 12回
- ③新型コロナウイルスに係る法人内ルールの作成と徹底
- ④新型コロナウイルスの職員定期検査の実施
- ⑤新型コロナウイルス感染者発生時の、職員・利用者  
様への検査の実施
- ⑥保健所、医療機関、役場等との連携

## 2、住民相談等への対応

### (1) 生活福祉資金の貸付

(実施主体：長野県社会福祉協議会)

資金種類	令和6年3月31日現在 で貸付中の件数
総合支援資金 (新型コロナウイルス感染症の特例貸付)	※7件
総合支援資金 (新型コロナウイルス感染症の特例貸付)の延長	※6件
総合支援資金	0件
緊急小口資金 (新型コロナウイルス感染症の特例貸付)	※12件
緊急小口資金	1件 (内、令和5年度新規貸付1件)

※特例貸付の受付は令和4年9月30日で終了となりました。

○生活福祉資金借入相談延べ回数 15件

### (2) 暮らしの資金貸付(松川町社協独自事業)

- 令和6年3月31日現在で貸付中の件数 6件  
(内、令和5年度新規貸付3件)
- 暮らしの資金の借入相談延べ回数 9件

## 3、地域福祉活動の推進・支援

### (1) 福祉関係団体等への活動支援

事務局として下記の団体の活動を支援しました。

- 身体障がい者福祉協会 ○遺族会
- 手をつなぐ育成会

## 4、防災と災害復旧・復興支援

### (1) 台風2号接近に伴う主な対応

- 6月2日(金)、台風2号が接近。これに伴い、役場保健福祉課と連携しながら、土砂災害特別警戒区域とその周辺や浸水想定区域にお住まいの要配慮者に対し、避難行動の準備等の呼びかけを行いました。

### (2) 能登半島地震支援

- 能登半島地震の被災地支援として、松川荘、ひまわり荘、地域ボランティアセンターから、合計4名の職員を石川県へ派遣しました。(3月)
- 松川町と連携し災害義援金の受付を実施しました。(1月～)

### (3) マニュアルの整備・更新

- 自然災害発生時と感染症発生時の業務継続計画(BCP)を作成しました。

### (4) 災害用備蓄の整備

- 大規模災害に備え、食料、飲料水、その他生活必需品等の備蓄品を整備・更新しました

## 5、共同募金運動

### (1) 赤い羽根共同募金の実績

自治会戸別募金	1,418,369円
法人募金	248,000円
職域募金	25,278円
イベント募金	5,034円
個人募金	4,689円
募金総額	1,701,370円

## 6、元気センター(仮称)への参画

### (1) 元気センター(仮称)の建設中止

○9月20日(水)、松川町は町議会全員協議会で、元気センター(仮称)の建設計画を撤回し、老人福祉センターを耐震補強、改修する方針と、地域共生コーディネーターを採用する方針を示しました。また、地域共生コーディネーターの経費(4,450,000円)を盛り込んだ補正予算が可決されました。

1月18日(木)、松川町議会臨時会で、老人福祉センターの改修のための設計業務委託費1,000万円を盛り込んだ一般会計補正予算案が否決されました。上記により、当法人が参画してきた地域共生の新たな拠点施設の整備は白紙に戻る形となりました。

## 7、その他

### (1) 松川町主催 戦没者追悼式並びに平和祈念式への協力

○8月24日(木)

## ヘルパーステーション

### 1、一人暮らし高齢者支援

#### ①一人暮らし高齢者の会(自由の会・桐の会・こまの会)

○大島、上片桐、生田の三地区(現在、大島と上片桐は合同開催)で、脳トレや体操・軽スポーツで交流しました。今年度は感染症対策をとりながら三地区交流会や全体交流会以外の月に開催することができ、皆さんに喜んでいただけました。

【3月末現在の登録者数】 33名

#### ②一人暮らし高齢者の交流会

○三地区交流会

6月27日(火)、資料館の松浦先生を講師をお願いし、中央公民館 えみりあにて開催することができました。

○町内一人暮らし全体交流会

11月7日(火)、中央公民館えみりあにて、午前中は役場保健福祉課の米山係長さんよりお話をお聞きし、午後は社協音楽隊の方々による二胡とギターの演奏をお聴きして一緒に歌い、楽しい時間を過ごすことができました。

#### ③こんにちは訪問

【3月末現在の登録者数】 0名

### 2、介護保険事業

#### ①訪問介護

【年間実利用者数】 67名

【年間延べ派遣回数】 4,501回

○要介護1～5の方を対象に、居宅サービス計画書に沿って個別援助計画を作成し、身体介護・生活援助

のサービス提供を行いました。また、定期的にサービス内容を評価し、改善に取り組みました。

### 3、介護予防・日常生活支援総合事業

#### ①訪問型サービス(独自)

【年間実利用者数】 14名

【年間延べ派遣回数】 366回

#### ②訪問型サービスA

【年間実利用者数】 0名

【年間延べ派遣回数】 0回

○要支援1・2・事業対象者の方を対象に、介護予防サービス支援計画書に沿って個別援助計画を作成し、主に生活援助のサービス提供を行いました。定期的にサービス内容を評価し、改善に取り組みました。

### 4、障がい者総合支援事業

#### ①身体障がい者居宅介護

【年間実利用者数】 3名

【年間延べ派遣回数】 304回

#### ②精神障がい者居宅介護

【年間実利用者数】 4名

【年間延べ派遣回数】 230回

#### ③知的障がい者居宅介護

【年間実利用者数】 1名

【年間延べ派遣回数】 51回

○サービス等利用計画に沿って個別援助計画を作成し、生活援助と身体介護のサービス提供を行いました。定期的にサービス内容を評価し、相談支援専門員他関係機関との連携を取りながら、相談や助言も行いました。

### 5、福祉教育の推進

#### ①福祉学習への支援

○飯田短期大学生生活科学学科介護福祉専攻(介護福祉士2年課程)生徒2名の介護実習受け入れを、感染予防対策を図りながら行いました。一緒にご利用者様宅を訪問し支援を行いながら、在宅での支援について学んでいただきました。

## デイサービスセンターひまわり荘

### 1、介護予防・日常生活支援総合事業

#### (1) 通所サービス

①お元気デイサービス〔通所型サービス(独自)〕

【年平均一日利用者数】 4.9名

【利用回数】 介護支援専門員の計画に沿った回数(月1～8回)で利用

○要支援1・2、事業対象者の方を対象に、感染症対策をとりながら、レクリエーションや脳トレ、筋力維持のための体操を行い介護予防に努めました。

# 社協介護支援センター

## (2) 介護予防サービス

### ①出張デイサービス [一般介護予防事業]

【年平均一日利用者数】 5.4名

【開所日数】 92日

【利用回数】 1組につき月1回 (全7組)

- 利用者の意向を伺い、感染症対策をとりながら、転倒予防、介護予防を意識したレクリエーションを取り入れ活動しました。

### ②コミュニティ・カフェ [一般介護予防事業]

【年平均一日利用者数】 10.6名

【開所日数】 232日

- 高齢者に活躍の場を提供し、感染症対策の対応ができるメニューから取り組みたい内容を自己選択・自己決定をすることで、楽しみながら介護予防に繋がる活動をしました。

## 2、介護保険事業

### (1) 通所介護事業

【年間実利用者数】 130名 (前年度148名)

【年間延べ利用者数】 7,591名

(前年度 7,598名)

【年平均一日利用者数】 24.6名 (前年度25.1名)

- 個別通所介護計画に沿ったサービスの提供を行いました。また、定期的にサービス内容を評価し、改善に取り組みました。
- 個別機能訓練計画に沿って作業療法士・看護師による機能訓練の提供・評価を行い身体機能の維持、改善に努めました。【機能訓練加算、月平均27.7名】
- 介護支援専門員、他関係機関との連携を取りながら、利用者様やご家族に対して相談や助言を行っています。また、ご要望に合わせ臨時利用や時間延長利用の受け入れを行いました。

## 3、福祉教育の推進

### (1) 福祉教育の提供の場としての支援

- 飯田短期大学生活科学学科介護福祉専攻2年生2名の通所介護実習の受け入れを行いました。
- 中学生ニコボラの受け入れを行いました。
- 夏休みぶちボランティア体験の受け入れを行いました。

## 4、防災と災害復旧・復興支援

### (1) 令和6年能登半島地震に介護職員等応援派遣

- ①【派遣期間】 3月3日(日)～3月7日(木)  
【活動場所】 いしかわ総合スポーツセンター  
【派遣職員】 1名
- ②【派遣期間】 3月11日(月)～3月15日(金)  
【活動場所】 能登町小木支所内福祉避難所  
【派遣職員】 1名

## 1、高齢者・障がい者・介護者等への支援

### (1) 地域福祉支援

- ①10月22日(日) 城北自治会、3月16日(土) 増野サロンにて出前講座で介護保険について説明をしました。

### (2) 介護者への支援

- ①緊急一時預かり事業 対応件数…0件
- ②地域ボラ主催の介護者教室にケアマネ2名が参加・協力しました。

### (3) 福祉用具の貸与

- ①社協の所有する介護用ベッド・吸引器・車いすの貸し出し延べ数  
介護用ベッド…10台 吸引器…19台  
車いす…31台
- ②車椅子の点検を行いました。

## 2、介護保険事業

### (1) 居宅介護支援

- ①令和5年度の居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成状況  
★介護担当数 2,488名  
給付管理数 2,137件  
★予防担当数 204名  
給付管理数 180件
- ②新規依頼を受けるように努めました。新規利用者を78名受けました。
- ③入院時の病院との連携を速やかに行うように努め、また、退院時には、在宅生活を安心して過ごせるようにサービス調整をしました。

### (2) 特定事業所加算Ⅱの算定条件への取り組み

- ①週1回の部署内でのケアマネ会議を開催しました。困難事例検討や支援方法を模索するケースを部署内でも検討し、今後の支援に活かせるように取り組みました。  
○虐待オンライン研修 8月16日(水)  
○身体拘束学習会 1月31日(水)
- ②介護支援専門員実務研修実習生1名を受け入れました。 2月
- ③地域包括支援センター主催のケアプラン点検に主任ケアマネとして協力するにあたり、研修に1名参加しました。 5月25日(木)
- ④ケアプラン点検を受け、自立支援に資する適切なケアプランについて確認し、事業所内で共有しました。 9月15日(金)
- ⑤北部ブロック(喬木・豊丘・高森・松川・大鹿)のケアマネ連絡会の研修(年4回)に参加し、他事業

- 所と顔の見える関係性が築けるように努めました。
- ⑥主任ケアマネ更新研修に3名参加し、資格を更新しました。

## 地域ボランティアセンター

### 1、住民相談等への対応

#### (1) 暮らしの相談

- ①幅広い悩みごとに対応した「暮らしの相談」を毎月20日（20日が土・日曜日または祭日の場合はその前日）の午前9時から正午まで中央公民館えみりあで開催しました。
- 相談所開設回数：12回      相談件数：10件

#### (2) 金銭管理・生活困窮者自立支援

- ①【日常生活自立支援事業】認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でないため日常生活での福祉サービスの利用や、金銭管理等がうまくできない方への支援を行いました。
- 実利用者数：4名 / 延べ支援回数：103回
- ②【自立相談支援事業】生活就労支援センター「まいさば飯田」の出張相談所として関係機関と連携し、生活困窮者の相談窓口業務を行いました。
- 出張相談同席回数：7回
- ③【緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業】
- 訪問回数：44件      電話による状況確認：随時

#### (3) 結婚相談

- ①登録者数（令和6年3月31日現在）

性別	登録者	内訳		松川町在住の登録者
		愛ねっと北部にも登録	松川町結婚相談所登録のみ	
男性	31	31	0	24
女性	8	7	1	4
合計	39	38	1	28

- ②結婚相談所の開設
- 11回（毎月第2日曜日 午後3時～午後7時30分または午後6時）
- 相談件数 28件
- ③結婚相談委員会の開催 12回  
（愛ねっと北部所長出席）
- ④5か町村共同設置の「愛ねっと北部」との連携 随時

### 2、地域福祉活動の推進・支援

#### (1) ふれあい・いきいきサロンの推進・支援

- ①町内で活動する32のふれあい・いきいきサロンの運営相談、講師の紹介、活動に必要な道具の貸し出しを随時実施しました。

- ②ふれあい・いきいきサロン関係者を対象とした情報交換会。
- 6月7日（水） 参加者：12名
- ③マイクロバスを運転手付きで貸し出しました。貸し出し：8サロン
- ④ふれあいサロン傷害補償の加入手続きを随時実施しました。
- ⑤【いちごサロン】開催を推進・支援しました。

開催日	参加者数			合計
	一般参加者	いちごサロンスタッフ	社協職員等	
4月14日(金)	6名	6名	2名	14名
5月17日(水)	6名	4名	1名	11名
6月15日(木)	25名	5名	2名	32名
7月14日(金)	12名	6名	2名	20名
8月23日(水)	8名	3名	2名	13名
9月15日(金)	11名	6名	2名	19名
10月13日(金)	25名	5名	1名	31名
11月15日(水)	6名	4名	2名	12名
12月15日(金)	9名	5名	1名	15名
1月17日(水)	6名	6名	2名	14名
2月15日(木)	10名	4名	1名	15名
3月15日(金)	18名	6名	2名	26名

#### (2) ボランティアコーディネートの充実

- ①ボランティア相談受付・コーディネート
- 相談件数：4件
- 内容：囲碁ボランティア、住民の方のボランティア活動
- ②ボランティア連絡協議会の活動を事務局として随時支援しました。
- 第1回役員会 5月16日（火） 参加者：4名  
内容：令和5年度ボランティアのつどいについて
- 第2回役員会 9月19日（火） 参加者：4名  
内容：令和5年度ボランティアのつどいについて
- ボランティアのつどい ～久しぶりの交流会～  
10月1日（日）  
参加者：20名
- 令和5年度ボランティア連絡会総会 3月29日（金） 参加者：11名
- ③6.25住宅デー奉仕活動での高齢者宅依頼取りまとめ
- 6月25日（日） 依頼者：9名
- ④ボランティア保険の加入手続きを随時実施しました。
- ボランティア活動保険加入者：785名
- ボランティア行事用保険加入者：372名
- ⑤傾聴ボランティアたんぽぽの会の活動を事務局として支援しました。
- 傾聴ボランティア会員：3名
- 実利用者〈個人〉：4名
- ・傾聴ボランティア派遣回数：22回
- ・傾聴ボランティア派遣人数：3名

- 実利用者〈施設〉：3施設 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣中止
- ・傾聴ボランティア派遣回数：0回
- ・傾聴ボランティア派遣人数：0名

### (3) 福祉推進委員の充実・活動の周知

- ①【福祉推進委員会議】福祉推進委員の役割と業務を明確にし、活発な活動を促すため、福祉推進委員会議を開催しました。

※法人内にて新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止

### (4) 地域福祉への理解を広げる学習会等の開催・情報発信

- ①【福祉懇談会】福祉推進委員、民生児童委員、社協職員を対象に、福祉懇談会を4地区で開催。

- 7月20日(木) 上片桐地区 参加者：24名
- 7月21日(金) 大島地区① 参加者：31名
- 7月26日(水) 大島地区② 参加者：35名
- 7月27日(木) 生田地区 参加者：20名

- ②【福祉出前講座】関係機関や町内の社会福祉法人等にもご協力いただき、福祉出前講座メニューを16講座作成しました。

- ③各種団体、自治会などを対象に、福祉出前講座を開催しました。

- 開催回数：3回

### (5) 地域交流活動の促進

- ①【地域交流事業】

- 松川町のヒノキを使ったスプーン作り  
12月17日(日) 参加者：17名

### (6) 福祉関係団体などへの活動支援

- ①福祉を考える会の活動支援

- 役員会 8回
- 運営委員会 6回
- 一円募金運動 6月1日(木)～7月3日(月)  
募金額：103,904円
- ペットボトルキャップの回収  
6月1日(木)～7月3日(月) 総重量：210kg
- ふれあい広場バザー 10月15日(日)  
売上金：75,990円

- ②松川町赤十字奉仕団の活動支援

- ボランティア活動保険加入手続き 190名
- 下伊那赤十字病院の行事支援
  - ・病院祭 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
  - ・ラベンダー刈り 6月24日(土) 参加者：8名
  - ・ポップ作り 7月4日(火) 参加者：5名
- 北部ブロック委員長・事務局会議  
5月23日(火) 於：大鹿村役場 参加者：2名

- 下伊那郡正副委員長会 5月31日(水)  
於：飯田合同庁舎 参加者：2名

- 消防総合演習炊き出し訓練 6月18日(日)  
於：中央公民館調理室 参加者：12名

- 地域赤十字奉仕団幹部研修会 7月7日(金)  
於：飯田市竜丘公民館 参加者：2名

- 赤十字救急法(AED・三角巾)講習会  
8月5日(土) 於：えみりあ 参加者：48名

- 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練  
9月3日(日) 参加者：6名

- ふれあい広場 災害時食体験  
10月15日(日) 参加者：11名

- 北部ブロック役員研修会 10月25日(水)  
於：大鹿村交流センター 参加者：11名

- 健康を考える集会 1月21日(日)  
於：えみりあ 参加者：4名

- 令和5年度総会 3月9日(土)  
於：えみりあ 参加者：108名

- 福祉施設での奉仕活動の調整・支援  
・町内(5施設) 活動回数：5回  
延べ参加者数：55名

- 正副委員長会 6回

- 役員会 5回

- ③【ふれあい広場】

- 第32回ふれあい広場の開催を事務局として支援しました。

- 10月15日(日) 催事数：43

- ④【福祉を考える集会】

- 第41回福祉を考える集会「みんないっしょになかよく～これも地域共生社会?～」  
於：えみりあ 参加者：108名

- ⑤地域で食材を循環させる会の活動支援

- 運営委員会 9回
- 食材配布会
  - 4月9日(日) 参加者：19名
  - 5月14日(日) 参加者：19名
  - 6月11日(日) 参加者：19名
  - 7月9日(日) 参加者：20名
  - 8月13日(日) 参加者：18名
  - 9月10日(日) 参加者：17名
  - 10月8日(日) 参加者：13名
  - 11月12日(日) 参加者：16名
  - 12月10日(日) 参加者：22名

### (7) 子育て環境と地域の子育て支援の充実

- ①【おとなのラジオ体操カード】

- おとなのラジオ体操カードを作成し、町内に全戸配布(7月)しました。

- ②NPO法人Hugへの支援

- フリースクールへの協力として社協版フリースクールを開催しました。
- 開催回数：31回

### 3、高齢者・障がい者・介護者等への支援

#### (1) 支援を必要とする人の把握と適切な対応

- ①関係機関、地域住民、及び社協内の関連部署と協力し、随時対応しました。

#### (2) 一人暮らし高齢者等への支援

##### ①【シングルの会】

【登録会員：9名】

- 4月12日(水) 参加者：3名 料理教室
  - 6月14日(水) 参加者：3名  
会員指導のもと体操、モルック
  - 8月9日(水) 参加者：4名  
会員指導のもと体操、地図や写真を見ながら旅行トーク
  - 10月11日(水) 参加者：4名  
秋を感じる旅(飯島 里の菓工房)
  - 12月13日(水) 参加者：4名  
会員指導のもと体操、モルック
  - 2月14日(水) 参加者：6名 料理教室
- ②生活支援コーディネーターによる要見守り高齢者への生活支援(配食サービス集金含む)  
訪問実世帯数：68世帯  
延べ訪問回数：432回
- ③地域福祉コーディネーターによる要見守り者への生活支援  
訪問実世帯数：4世帯 / 延べ訪問回数：4回
- ④【ボランティア横づな】と【ボランティアの日】の運営
- ボランティア横づな登録者数  
・147名(一般26名、学生5名、松川町役場職員58名、松川町社協職員58名)
  - ボランティアの日

開催日	支援世帯	ボランティア横づな参加者
5月14日(日)	7世帯	12名
6月4日(日)	7世帯	12名
7月2日(日)	6世帯	7名
8月6日(日)	8世帯	11名
9月10日(日)	8世帯	8名
10月1日(日)	4世帯	3名(雨天のため規模縮小)
11月12日(日)	7世帯	16名
12月3日(日)	4世帯	9名
1月14日(日)	5世帯	9名
2月4日(日)	6世帯	13名
3月3日(日)	5世帯	8名

- 生活支援利用登録世帯  
・24世帯
- 活動参加促進の取り組み[活動参加5回で横づなTシャツ1枚プレゼント(1度のみ)]  
・対象者：8名
- 活動参加促進の取り組み[活動参加10回で横づな

なアウター1枚プレゼント(1度のみ)]  
・対象者：3名

#### (3) 介護者への支援

##### ①【介護者教室】

- 5月 参加者：14名 『認知症を誰もがなる病気として気楽に考える』講師：何原弓絃様
- 7月 参加者：6名 自分で足つぼマッサージ  
講師：asioto 小坂美和子様
- 10月 参加者：7名 家族をケア、自分もケア  
講師：保健師 土岐真紀様
- 1月 参加者：6名 「もしもの時」みんなで楽しく話したら安心!  
講師：松川町地域包括支援センター 宮下恵里様
- 3月 参加者：9名 フラワーアレンジメント  
講師：寺澤桂子様

##### ②【在宅介護者リフレッシュ事業】

11月24日(金) 参加者：9名  
中川村～伊那市ぐるっとコース

#### (4) 介護が必要な高齢者・身体障がい者の外出や交流の支援

##### ①【レンゲツツジの会バスハイク】(事務局として支援)

○レンゲツツジの会会員による親睦旅行  
7月13日(木) 参加人数15名

##### ②【希望の旅事業】

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

#### (5) 地域支援事業任意事業

##### ①【配食サービス事業】昼食の弁当配達と声かけ活動

- 対象 一人暮らし高齢者・高齢者世帯など
- お弁当作り担当  
【味の里松川】火・木 【松川荘】月・水・金
- 配達 ボランティアグループ「ゆきわり草」
- 利用者への配食回数 希望により月1回～週3回

月	配食数	月	配食数	月	配食数
4月	165食	8月	197食	12月	182食
5月	172食	9月	172食	1月	180食
6月	196食	10月	178食	2月	192食
7月	172食	11月	180食	3月	204食

○生活支援コーディネーターによる弁当代集金を兼ねた見守り訪問 延べ訪問回数：266回

##### ②【認知症カフェ補完事業やすらぎ支援事業】

- オレンジカフェ利用者 実利用者数：0名  
延べ利用回数：0回
- 在宅軽度認知症利用者 実利用者数：4名  
延べ利用者数：25回

○社協が主催する一人ぐらしの会への参加者

会の名称	支援員参加回数	延べ支援員派遣数
独楽の会	0回	0名
自由の会・桐の会	2回	2名
合計	2回	2名

#### 4、福祉教育の推進

##### (1) 福祉推進校の指定・支援

- ①中央小学校・松川中学校・松川高校・NPO法人Hugにそれぞれ補助金を3万円、北小学校に補助金を2万円交付しました。
- ②【福祉推進校連絡会】各校の福祉活動の内容や課題など、情報の共有と、連携をとりあう目的で福祉推進校連絡会を開催しました。  
○7月4日(火) 出席者：各学校関係教諭・教育長・公民館長・地域コーディネーター・NPO法人Hug

##### (2) 小・中・高校の福祉学習などへの支援

- ①【ニコボラ】中学生ボランティア体験事業の活動支援  
中学生活動日数：170日  
延べ活動者数：539名
- ②松川中学校 キャリアトーク in 松川 への参加  
4月25日(火)
- ③しごと未来フェア in 松川への参加  
11月22日(水)
- ④【小学校 夏休みぶちボランティア体験】夏休みを利用した小学生のボランティア体験メニューを作成、開催しました。  
○開催日数：9日 延べ参加者数：23名

##### (3) こども福祉教室“あいむ”の活動支援

- 6月11日(日)  
開校式&手話体験 参加者：24名
- 7月 8日(土)  
旧東小学校で焼肉会！ 参加者：31名
- 10月15日(日)  
ふれあい広場に参加しよう！ 参加者：21名
- 12月10日(日)  
ボランティア体験ツアー 参加者32名
- 3月 2日(土)  
パラスポーツ体験 参加者：22名

##### (4) 松川町保育園小中学校運営協議会への参加

- 5月12日(木) 第一回運営協議会
- 6月23日(木) 第一回教育懇談会

#### 5、防災と災害復旧・復興支援

##### (1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

- 9月3日(日)  
参加者：80名(民生児童委員/福祉推進委員/松川町赤十字奉仕団/松川町役場総務課・保健福祉課/松川町社協役職員)  
防災・減災体験講座への協力団体：下伊那赤十字病院/ミドリ安全株式会社/日本防災士会

##### (2) 被災地支援

- ①能登半島地震関連  
○災害ボランティアセンター運営支援者の派遣  
【派遣先：石川県能登町災害ボランティアセンター 能都サテライト】  
・3月29日(金)～4月2日(火)  
派遣職員：1名  
○松川町と連携し、災害義援金の受付を実施しました。

#### 6、地域福祉情報の受発信

##### (1) 社協だより・ボランティアだよりなどの発行

- ①社協だより「ずーっといっしょ」を隔月発行、全戸配布しました。 180号～185号
- ②ボランティアだより「ふれあいひろば」を隔月発行、全戸配布しました。180号～185号
- ③役場・支所・公民館の他、町内の病院・診療所の待合室に社協だより・ボランティアだよりの設置を依頼、配布をしました。

##### (2) チャンネル・ユー、インターネットの活用

- ①【チャンネル・ユー「社協だより」】チャンネル・ユーを利用して「社協だより」を発信しました。  
○4月 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練  
○5月 一人ぐらしの会&いとし児会草取り  
○6月 きっかけの会&おもちゃ図書館の活動紹介  
○7月 花てまりクラブの活動紹介  
○8月 一円募金 集計  
○9月 小学生夏休みぶちボランティア体験  
○10月 スイートボイス対面ボランティア  
○11月 ふれあい広場  
○12月 一人ぐらし全体交流会  
○1月 あいむ ボランティア体験ツアー  
○2月 介護者教室 人生会議  
○3月 福祉を考える集会
- ②ホームページの管理・運用  
○ホームページを随時更新し、最新情報を発信しました。
- ③フェイスブック、ツイッターの管理・運用  
○フェイスブック、ツイッターを随時更新し、最新情報を発信しました。

# 特別養護老人ホーム 松川荘

## 1、介護保険事業の運営

### (1) 介護福祉施設サービス

- ①定員 50名
- ②男女別入所者数・平均年齢・平均介護度  
(令和6年3月31日現在)

性別	入所者数	平均年齢	平均介護度
男性	4名	79.5歳	4.3
女性	43名	89.0歳	4.4
	計47名	平均88.5歳	平均4.4

### ③市町村別利用状況 (令和6年3月31日現在)

市町村	松川町	飯田市	豊丘村	高森町	阿智村	喬木村	大鹿村	計
人数	27	13	1	3	1	2	0	47

- ④令和5年度入退所状況  
○入所者合計 23名  
○退所者合計 25名

### (2) 短期入所生活介護

- ①定員 8名
- ②稼働日数 366日
- ③年間実利用者数 47名
- ④年間延べ利用者数 2,928名(退所日を含める)
- ⑤一日平均利用者数 7.0名(退所日を含める)
- ⑥平均介護度 3.4

## 2、事故防止・感染防止

### (1) 介護事故の防止

- ①ヒヤリハットの収集・分析を随時行ないました。
- ②事故防止検討委員会を毎月1回開催し、再発防止策を検討して職員に周知徹底しました。
- ③事故防止学習会を年2回開催(10月23日、交通安全)(1月26日 ヒヤリハット集計・間違い探し)し、事故防止への職員の意識向上と知識・技術の習得に努めました。

### (2) 感染症予防の取り組み

- ①感染症対策委員会を開催し、感染対策の検討と職員への周知徹底を図り、感染症予防に努めました。

#### 【感染症対策委員会】

年10回開催(5月22日、6月19日、9月25日、10月13日、11月20日、1月15日、1月26日、2月19日、3月18日、3月28日)

- ②感染症学習会を年2回開催(5月には下伊那赤十字病院感染症認定看護師の松下美幸氏を講師に、新型コロナウイルス感染症対応後の振り返りを行いました。12月には、看護師により防護服の着脱訓練を行いました。感染症への職員の意識向上と知識・技術の習得に努めました)

- ③年間通して新型コロナウイルス感染症が、施設で発生したことから、さらなる感染症へのスタンダードプリコーションの徹底と職員の意識向上で日々の情報に注視し取り組みました。

## 3、利用者様へのサービス向上

### (1) 生活単位を小さくしたグループケア

- ①心身の状態と介護保険のサービス種類(介護福祉施設サービス、短期入所生活介護)によるグループ編成を継続し、利用者様の状態に応じたきめ細かなケアに努めました。
- ②サービス担当者会議を定期的で開催し、利用者様・ご家族が望む生活を職員間で確認・共有し、実現に努めました。
- ③個別の排せつケア(個々の利用者様にあった排せつ方法や、介助方法、排せつ用品の使用)により、清潔で快適な生活と、身体機能の維持向上に努めました。

### (2) 行事・娯楽の充実

- ①生活に潤いと変化をもたせ、喜びと生きがいにつながるよう、季節に合わせた行事を毎月企画・実施しました。

月	内容
4月	お花見散歩(複数回) 3月28日~4月11日
5月	中庭の散歩
6月	喫茶まつかわそう(中止)
7月	七夕祭り(7日)(ハンドベルの演奏・短冊飾り)
8月	涼のつどい(10日)(音楽療法)
9月	敬老表彰式(14日)
10月	紅葉狩り散歩(11日~31日) ふれあい広場作品展示(14日~15日)
11月	音楽祭(21日)(大正琴・二胡・ユーホの演奏)
12月	クリスマス会(12日)(ウクレレ演奏会)
1月	新年会(中止)
2月	節分行事(8日)(豆まき・鬼踊り)
3月	お花見ドライブ・散歩(28日~)

- ②日々の工作や、レクリエーションの時間を通してできた作品は季節ごと、荘内に展示しました。
- ③料理作りをとおし利用者様・職員で楽しく交流を図る「料理を作る会」は、新型コロナウイルスの感染症予防のためお休みし、個別プランで関わりをしました。

月	内容
4月	ハンドマッサージ(4日) (利用者様6名・職員3名)
6月	お誕生日お祝いしましょ(23日) (利用者1名・職員2名)
7月	パンケーキでプレイクタイム(31日) (利用者8名・職員2名)

11月	春が楽しみですねえ（14日） （利用者様7名・職員3名）
11月	ハンドマッサージ（15日） （利用者6名・職員2名）

### (3) 終末への取り組み

#### ①看取り学習会の開催

11月27日（講師）長野県看護協会 下伊那赤十字病院看護師長 眞島裕美子氏  
（テーマ）看取りケア

### (4) 地域に開かれた施設への取り組み

#### ①ボランティアの受け入れ

ボランティアさんの受け入れは、松川中学校生徒さんによるニコボラ（合計21回・42名）・日赤奉仕団の皆さんの受け入れ（8月23日、1回12名）を行いました。外作業中心に行っていただきました。

#### ②名子中央保育園との交流会

新型コロナウイルス感染症予防のため交流会は見合わせました。

#### ③松川中学校（仕事未来フェア）

松川中学校仕事未来フェアin松川中の参加は、11月22日に開催されて、1名参加しました。

#### ④ふれあい広場荘内見学中止

地域住民の皆様と利用者様・ご家族の皆様は松川荘を知っていただく日として、ふれあい広場の日（午前中2時間）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、荘内開放は中止しました。

#### ⑤飯田短期大学実習生の受け入れ

飯田短期大学介護福祉専攻 2年生 2名  
（8月28日～10月11日）

### (5) 楽しみの持てる食事提供

①個々の利用者様の心身の状態と嗜好に応じた栄養管理と、季節の行事に応じた行事食の提供等により、食べる楽しみと生きる喜びにつながる食事の提供に努めました。

#### 【行事食】

誕生日献立（毎月）、敬老の日お祝い御膳、秋の味覚献立、クリスマス特別献立、新年会特別献立、節分献立、ひなまつり献立、季節による献立（彼岸、七夕、年越し等）の他、毎月、郷土料理の日を設け、その土地の食材や、名物を取り込んだ献立でそこへ行った気分を味わっていただけるお食事を提供しました。

②ソフト食を取り入れ、嚥下力や咀嚼力の機能低下した方も飲み込み易く、原材料の味や見た目を生かしながら楽しみの持てる食事を提供しました。

③安心・安全な食材の選定と、手作りにこだわり、より美味しい食事を食べていただけるよう心がけました。

### (6) 身体機能の維持と機能訓練の充実

①柔道整復師によるリハビリを実施予定でしたが新型コロナウイルス感染症予防のため、機能訓練指導員による生活リハビリを日々の生活の中で行い、残存機能の維持・向上に努めました。

②音楽療法士による音楽療法は、8月に1回行事の中で行いました。DVD演奏を見たりして、一緒に歌い、生理的・心理的・社会的な効果を応用して、心身の健康の回復、向上を図りました。

### (7) ご家族との連携を深める取り組み

①今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、家族会役員の方とも相談し今年度は取りやめ、報告事項送付にてご意見を頂きました。

### (8) 利用者様とご家族のつながりを大切にす取り組み

①感染症対策を取りながら、面会を、4月10日～12月22日の期間行いました。12月23日～3月31日の期間は中止させていただき、窓越しと、オンラインにより対応しました。年間を通して、オンライン面会（ZOOM）の対応をしました。  
（面会248名・ZOOM面会 1名）

### (9) サービス満足度調査の実施

①8月に介護福祉施設サービス利用者のご家族（身元引受人）を対象に満足度調査を実施し、サービスの改善・向上に努めました。

②10月に短期入所生活介護利用者様とご家族（身元引受人）を対象に満足度調査を実施し、サービスの改善・向上に努めました。

### (10) 委員会の設置

①部署を越えた職員で構成される委員会を設置し、利用者様の生活の質向上のために活動しました。

#### 【設置委員会】

#### ○法制度に基づく委員会

事故防止安全対策検討委員会／苦情対策委員会／感染症対策委員会／褥瘡防止委員会／身体拘束適正化検討・虐待防止対策委員会／喀痰吸引・経管栄養安全対策委員会

#### ○松川荘独自の委員会

委員会名	主な取り組み内容
排せつ・入浴委員会	特殊浴槽動作チェック・トイレ内の整理整頓・外傷チェック・スキントラブル学習会 は中止・オムツパッドの当て方学習会
食事・口腔ケア委員会	口腔体操・歌と歌詞の作成・嗜好調査の実施・職員検食時利用者体験・口腔ケアの見直し
行事・レクリエーション委員会	行事計画・実施・反省、誕生者の写真撮影・日常レクの充実・荘内作品制作、展示

#### 4. 施設情報の発信

##### (1) 「松川荘だより」の発行

①利用者様の生活の様子や施設内の出来事等を掲載した「松川荘だより」を発行し、施設情報の提供と、施設への理解促進に努めました。

○発行回数：年3回（7月、11月、3月）

○配布範囲：松川町全戸／身元引受人／近隣福祉関係事業所

#### 5. 防災と災害復旧

##### (1) 防災・防犯訓練の実施

①防災訓練・消火訓練

○5月26日（金） 午後3時30分～午後5時00分

訓練参加者：松川荘職員

②防災訓練・消火訓練

○11月18日（土） 午後10時～11時

訓練参加者：宗源原自治会の皆さん・松川荘職員

③防犯訓練

○予定しましたが、感染症の発生で行事がずれ込み、開催できませんでした。会議時に施設等の確認を行いました。

##### (2) 災害用備蓄の整備

①大規模災害に備え、生活必需物資の備蓄・管理に努めました。

②新型コロナウイルス感染症に備え、衛生用品等の備蓄・管理に努めました。

##### (3) 被災地支援

①令和6年能登半島地震に介護職員等応援派遣 1名（3月3日～3月7日 5日間）を行いました。

#### 6. 社協職員の基盤強化

##### (1) 基本理念の浸透と基本理念に基づく事業運営

①松川町社協の基本理念を毎週1回唱和し、職員に浸透する事が出来ました。

毎月1回の職員会議で基本理念に基づく体験発表を行い、基本理念の浸透に努めました。

##### (2) 財源確保・使途の明確化

①毎月の運営会議・職員会議に於いて、介護保険動向と収支書を報告し、課題と分析を行い、職員全体で利用率の確保と経費削減に努めました。

##### (3) 特養松川荘の在り方検討

①特養松川荘の施設老朽化に伴う今後の在り方について、行政と連携して検討をすすめました。

##### (4) 職員の資質向上

①職員の資質向上を図るため、それぞれの分野の専門家を講師にお招きして、以下の研修会を開催しました。

開催月日	内容	講師
4月28日	身体拘束虐待防止学習会(資料配布)	松川荘介護支援専門員
5月19日	感染症対策学習会①	下伊那赤十字病院認定看護師 松下美幸 氏
5月23日	接遇学習会	アイオイニッセイ同和損保 房野剛士 氏
5月29日	救命救急学習会	高森消防署 座光寺分署 赤羽一仁 氏
6月13日	バットの当て方学習会	白十字 橋本典昭 氏
6月16日	床擦れ対策と車椅子ケア	モルテン(オンライン)
7月4・5・10日	喀痰吸引演習	松川荘看護師
7月18日	メンタルヘルス①-1	オフィス宮田 宮田美恵子 氏
8月4日	腰痛予防学習会	介護福祉士会 平澤文子 氏・村田香 氏
8月22日	メンタルヘルス①-2	オフィス宮田 宮田美恵子 氏
8月29日	メンタルヘルス②-1	オフィス宮田 宮田美恵子 氏
9月12日	スキントラブル学習会	下伊那赤十字病院認定看護師 森上幸恵 氏
9月19日	メンタルヘルス②-2	オフィス宮田 宮田美恵子 氏
10月25日	摂食嚥下・口腔ケア	下伊那赤十字病院作業療法士 山下圭一 氏
10月25日	褥瘡管理セミナー	中日本メディカルリンク主催 原慎吾氏(オンライン)
10月27日	交通安全講話	有限会社若葉 小池久男 氏
11月27日	看取りケア	看護協会 下伊那赤十字病院 看護師長 眞島裕美子 氏
12月4・6・12日	感染症②防護服着脱訓練	松川荘看護師
12月8日	身体拘束・虐待防止②	社会福祉士会 相談支援専門員 勝又小百合氏
1月26日	事故防止学習会(資料配布)	米山相談員
3月	認知症高齢者の理解と看護	訪看みどりいな支所 柴友絵 氏(オンライン)
3月	尊厳ある生活を支える看護介護施設における看護の人材育成	社会福祉法人 松本ハイランドゆめの里 青木芳美 氏(オンライン)

②体系的な職員研修プログラムを研究し、進めました。オンラインの研修も取り入れながら行いました。コロナ感染症感染時期もあり、当初の予定より時期がずれたものもありました。

③職員の意識統一と資質向上のため、月毎に事故防止・接遇・目指すべき姿等に関する目標を設定し、毎朝唱和して目標達成に努めました。

【サービス区分別収支状況】

単位：円

サービス区分	収入金額	支出金額	残高
地域福祉推進本部事業	67,592,040	91,006,866	-23,414,826
共同募金配分金事業	1,809,690	1,809,690	0
居宅介護支援サービス事業	80,791,546	28,438,691	52,352,855
訪問介護サービス事業	44,938,871	27,177,296	17,761,575
通所介護サービス事業	138,394,026	115,684,810	22,709,216
松川荘介護サービス	358,122,054	256,652,028	101,470,026
決算総額	691,648,227	520,769,381	170,878,846

【財源別収入・使途別支出状況】

単位：円

財源内訳	収入金額	使途内訳	支出金額
会費	3,940,400	人件費	382,057,173
寄付金	1,910,894	事業費	71,119,001
補助金	52,701,215	事務費	45,339,311
受託金	6,924,190	助成金その他	7,350,861
事業収益	78,700	特別増減(固定資産処分損)	102,016
介護保険収入	409,933,724	特別増減(繰入金費用)	14,070,793
障害福祉サービス	1,651,660	積立金積立額	730,226
サービス活動外	1,456,652		
特別増減(その他)	1,571,660		
特別増減(繰入金)	14,070,793		
前期繰越活動増減	189,278,339		
積立金取崩	8,130,000		
収入総額	691,648,227	支出総額	520,769,381

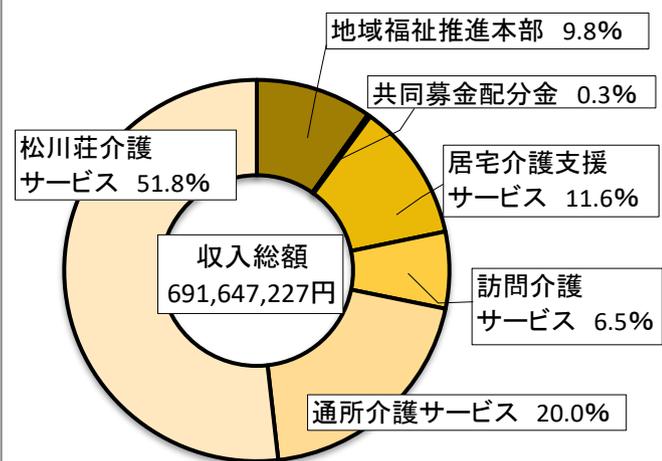
※収入金額には令和4年度までの繰越金が含まれています。

※189,278,339円は繰越金となります。令和5年度の活動費として、事業の財源になります。

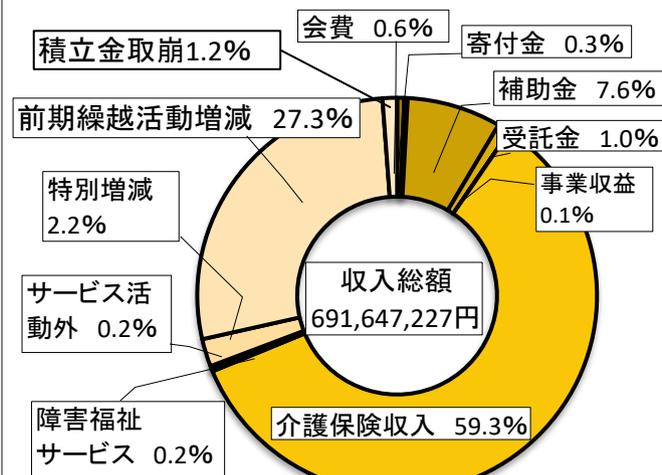
※令和5年度ご協力いただきました社協会費は、3,940,400円の収入となりました。

ボランティア事業など地域福祉事業に使わせていただきました。

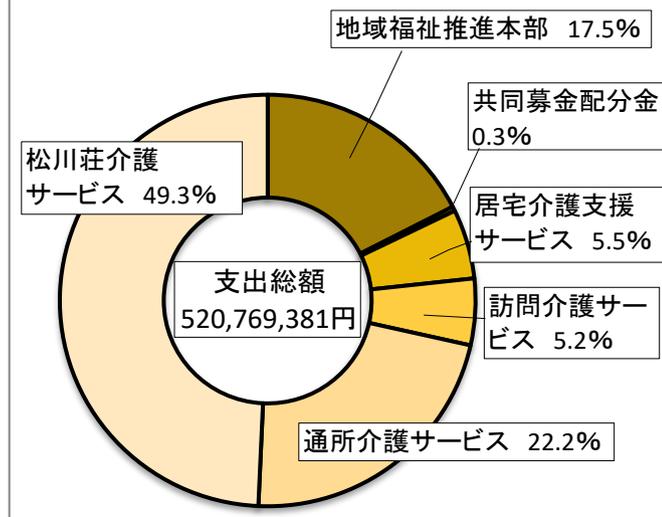
サービス区分別収入状況



財源別収入状況



サービス区分別支出状況



使途別支出状況

